



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 2019年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,564	△3.2	450	29.4	461	28.7	310	24.6
2019年3月期第2四半期	6,783	△1.9	348	36.2	358	35.3	248	△2.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 309百万円(27.7%) 2019年3月期第2四半期 242百万円(△11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	37.84	—
2019年3月期第2四半期	29.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,316	5,812	56.3
2019年3月期	10,710	5,702	53.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,812百万円 2019年3月期 5,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,617	△0.7	829	2.8	840	1.4	561	1.7	67.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	8,345,370株	2019年3月期	8,345,370株
2020年3月期2Q	203,922株	2019年3月期	15,728株
2020年3月期2Q	8,192,877株	2019年3月期2Q	8,329,678株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用環境の緩やかな回復が見られるものの、世界的な貿易摩擦への懸念や物価の上昇等により消費者の節約志向が高まってきており、不透明な状況になってきました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等による商品の値上げや内容量の減量（実質値上げ）等により、消費者の生活防衛意識が強まってきております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比3.2%減の6,564百万円となりました。これは主に、鶏卵関連事業における鶏卵相場の低下により連動する販売単価が低下したことや、調味料関連事業における既存商品の販売の減少等によるものであります。

一方で、鶏卵関連事業における販売数量は前年同期比2.8%増と好調に推移し、第2四半期連結累計期間における過去最高となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が増加したことや鶏卵相場の低下により連動する原料仕入単価も低下したこと、また製造コストの削減等により、営業利益は同29.4%増の450百万円、経常利益は同28.7%増の461百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同24.6%増の310百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の製品販売単価及び原料仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品販売単価及び原料仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品販売単価と原料仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量につきましては前年同期比2.8%増となり、第2四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となりました。売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比で約5.9%（約10円）低下したため、連動する販売単価も低下したことにより、液卵売上高は前連結会計年度に比べ3.2%減の5,592百万円となりました。また、加工品売上高はゆで卵や仕入販売の増加等により同9.8%増の249百万円、その他売上高は同0.4%増の186百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の合計の売上高は、同2.6%減の6,029百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量が増加したことや鶏卵相場の低下により連動する原料仕入単価も低下したこと、また製造コストの削減等により、前年同期比34.7%増の438百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売減少やスナック向け商品の採用が少なかったこと等により前年同期比8.8%減の548百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少により、前年同期比73.9%減の3百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電事業であり、売上高は天候不順等により前年同期比13.8%減の14百万円となり、セグメント利益は同15.6%減の8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は10,316百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少しました。

流動資産は5,217百万円となり、前連結会計年度末に比べ366百万円減少しました。主な要因は、商品及び製品の増加95百万円、現金及び預金の減少199百万円、受取手形及び売掛金の減少310百万円等によるものであります。

固定資産は5,098百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少57百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ504百万円減少しました。

流動負債は2,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少167百万円等によるものであります。

固定負債は2,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少197百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は5,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益310百万円の計上及び配当金の支払い74百万円による利益剰余金の増加235百万円、自己株式の取得124百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.2%から56.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ163百万円増加し1,566百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ313百万円増加し389百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上449百万円、減価償却費の計上189百万円、売上債権の減少310百万円等により資金が増加し、仕入債務の減少167百万円、たな卸資産の増加120百万円、法人税等の支払い152百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ35百万円増加し159百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出143百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ189百万円増加し430百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出242百万円、自己株式の取得による支出124百万円、配当金の支払額75百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	2,103
受取手形及び売掛金	2,185	1,875
商品及び製品	816	911
仕掛品	47	62
原材料及び貯蔵品	213	223
その他	21	44
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	5,584	5,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,948	1,891
機械装置及び運搬具（純額）	1,010	1,003
土地	1,915	1,915
その他（純額）	89	112
有形固定資産合計	4,964	4,923
無形固定資産	7	5
投資その他の資産		
投資有価証券	134	157
その他	20	13
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	153	169
固定資産合計	5,126	5,098
資産合計	10,710	10,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745	577
短期借入金	938	905
未払法人税等	177	163
未払消費税等	45	32
賞与引当金	70	69
役員賞与引当金	—	21
その他	580	497
流動負債合計	2,558	2,267
固定負債		
長期借入金	1,798	1,600
長期未払金	567	562
繰延税金負債	58	46
その他	26	26
固定負債合計	2,450	2,235
負債合計	5,008	4,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	4,829	5,065
自己株式	△7	△131
株主資本合計	5,645	5,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	57
その他の包括利益累計額合計	57	57
純資産合計	5,702	5,812
負債純資産合計	10,710	10,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	6,783	6,564
売上原価	5,526	5,155
売上総利益	1,257	1,409
販売費及び一般管理費	908	958
営業利益	348	450
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	12	12
その他	3	3
営業外収益合計	17	17
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	—	0
営業外費用合計	6	5
経常利益	358	461
特別利益		
補助金収入	0	0
受取保険金	10	—
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	12
災害による損失	9	0
特別損失合計	9	13
税金等調整前四半期純利益	361	449
法人税、住民税及び事業税	125	151
法人税等調整額	△13	△11
法人税等合計	112	139
四半期純利益	248	310
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	310

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	248	310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△0
その他の包括利益合計	△6	△0
四半期包括利益	242	309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	309
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	361	449
減価償却費	201	189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	19	21
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	6	5
受取保険金	△10	—
補助金収入	△0	△0
固定資産除売却損益(△は益)	0	12
災害損失	9	0
売上債権の増減額(△は増加)	10	310
たな卸資産の増減額(△は増加)	△161	△120
仕入債務の増減額(△は減少)	△76	△167
未払消費税等の増減額(△は減少)	△124	△12
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△4
その他	△30	△133
小計	209	546
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△6	△6
保険金の受取額	10	—
補助金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△139	△152
営業活動によるキャッシュ・フロー	76	389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△204	△204
定期預金の払戻による収入	204	204
有形固定資産の取得による支出	△125	△143
投資有価証券の取得による支出	△2	△23
その他	3	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△136	12
長期借入れによる収入	150	—
長期借入金の返済による支出	△187	△242
自己株式の取得による支出	△0	△124
配当金の支払額	△66	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240	△430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△288	△199
現金及び現金同等物の期首残高	1,690	1,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,402	1,566

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,189	577	6,767	16	6,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	—	24
計	6,189	602	6,791	16	6,807
セグメント利益	325	12	338	10	348

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	338
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	348

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,029	521	6,550	14	6,564
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	27	27	—	27
計	6,029	548	6,577	14	6,592
セグメント利益	438	3	442	8	450

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	442
「その他」の区分の利益	8
四半期連結損益計算書の営業利益	450

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。